

特別展

地球を見る

地図と画像と鳥瞰図

宇宙から見た神奈川

こんな地図みたことないっ



見れば読むほど面白い

(●: 神奈川県立生命の星・地球博物館)

神奈川(東方900km上空より45度斜め下西方へ俯瞰した鳥瞰図である。高さは1.5倍に強調してある。作図にあたっては、米国政府所有のものを、Spacemaging社/宇宙開発事業団から提供を受けたランドサット衛星画像データ(下半部97年4月、上半部96年11月)を使用した。標高データは、国土地理院長の承認(承認番号平13総使第227号)を得て同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。鳥瞰図の作成にはカシミール3Dを使用した。

2001年10月20日(土) ⇒ 12月16日(日)

- 休館日 / 毎週月曜日
- 開館時間 / 9:00~16:30 (入館は16:00まで)
- 特別展観覧料 / 20歳以上(学生を除く): 200円 20歳未満・学生: 100円 高校生以下・65歳以上: 無料
- 常設展観覧料 / 20歳以上(学生を除く): 510円 20歳未満・学生: 300円 高校生以下・65歳以上: 無料
- 交通 / 箱根登山鉄道(小田急線乗り入れ)「入生田(いりうだ)」駅下車徒歩3分 国道1号線沿い
- 展示協力 / 東海大学情報技術センター
- 資料提供 / 宇宙開発事業団



神奈川県立 生命の星・地球博物館

〒250-0031 小田原市入生田499
TEL.0465-21-1515

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History <http://www.city.odawara.kanagawa.jp/museum/g.html>



特別展

「地球を見る」

—宇宙から見た神奈川—

はなれたところから、直接ものに触らず調べたことをリモートセンシング(遠隔探査)といいます。

天気予報に使われている気象衛星「ひまわり」から見た雲の画像は、宇宙からのリモートセンシングの有名な例です。すなわち、定期的に安定した観測とコンピュータ解析が可能という特徴があるのです。そのために気象だけではなく地形・地質や植生などといった地表面の様子を調べることにも使われています。

今回の特別展では、地球観測衛星ランドサットなどから地球がどのように見えているのか、衛星画像に写しこまれている地球の情報の見方を紹介します。

【おもな内容】

(1) 宇宙から見ている

世界的に有名な地球の営みを衛星画像で紹介。
造山帯、砂漠、さんご礁などの衛星画像など

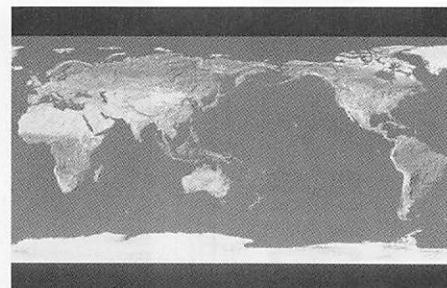
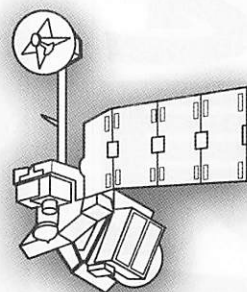
(2) リモートセンシングってなに?

リモートセンシングのメリットを紹介。
航空写真と衛星画像の比較、衛星観測のメリットの解説など

(3) 衛星で見る

衛星画像からの情報の取り出し方を紹介。
画像解析方法、鳥瞰図作成方法の解説、地形・地質(構造線、断層、火山など)、植生、人間の活動を示す衛星画像など

日本列島をつなぎあわせた
縮尺20万分の1の
衛星画像地図は圧巻!!
きみの町がわかるかな



宇宙から見た地球 ©TRIC



横浜周辺の衛星画像



箱根付近の衛星画像鳥瞰図

■講演会「宇宙から地球を見ると」

10月27日(土) 13:30~16:00(講義室)

小澤 拓(国立極地研究所)・新井田秀一(当館学芸員)

※講演会のお申込み等については、当館までお問い合わせください。

共催：神奈川地学会、湘南地球科学の会

■学芸員による展示解説

13:30より 10/21(日)、11/4(日)、23(祝)、12/2(日)、16(日)

神奈川県立 生命の星・地球博物館

〒250-0031 小田原市入生田499 TEL.0465-21-1515